

全剣連第 07-222 号
令和 7 年 7 月 16 日

都道府県剣道連盟
理 事 長 殿
専 務 理 事 殿

公益財団法人 全日本剣道連盟
副会長兼専務理事 中谷行道
アンチ・ドーピング委員長 末吉孝一郎

「うっかりドーピング」防止のための各都道府県連盟への周知徹底依頼

いつもお世話になっております。さて、国民スポーツ大会（以下、国スポ）が 2025 年 9 月 28 日（日）～10 月 8 日（水）の期間、滋賀県で行われますが、これまで剣道競技ではドーピング検査が行われたことがありますので、各都道府県の皆様には注意を喚起させていただきます。

近年、国スポ剣道競技には、**中高年層の選手**も多数ご参加いただいておりますが、一方で、中高年層の選手の一部には、持病の治療や健康維持のために**医薬品（漢方や健康サプリメント等を含む）**を服用されている方もいらっしゃいます。また、若年層の選手でも医薬品を服用されている場合があります。従って、**意図せずにドーピング規則に抵触してしまう、いわゆる「うっかりドーピング」のリスクが選手全員にあります。**

しかし、たとえ「うっかりドーピング」であっても、ドーピング違反が確定すると、以下のような制裁処分を受けることになります。

<個人の場合>

- ・ 競技に参加する前に検査によって違反が確定すると、国スポ参加資格を失う。
- ・ 検査で違反が確定すると、その種目の成績は抹消される。
- ・ 予選であれば、それ以後の競技に参加できなくなる。
- ・ 一定期間、すべての大会に参加できなくなる（資格停止処分となる）。

<チームの場合>

- ・ 競技に参加する前に、検査によって違反が確定した場合、その選手は国スポ参加資格を失うが、競技団体の規則が定める範囲内においてチームは参加することができる。
- ・ 検査で違反が確定した場合、選手の成績は抹消されるが、チームの成績は競技団体の定めに従う。
- ・ 予選であれば、それ以後の競技には参加できなくなる。

以上のことを未然に防ぐために、選手や選手候補の皆さんに、以下のことを周知徹底していただくようお願いします。

1. いかなる医薬品も大会前に服用する場合には、JSPO 作成の「アンチ・ドーピング使用可能薬リスト（2025 年版）」(<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid537.html> を参照) に含まれているものであるかどうか、**必ず確認**してください（リストにある医薬品は使用可能です）。
2. すでに服用している医薬品があれば（病院で処方された薬、市販薬、サプリメント等を含む）、**必ず医師、薬剤師またはスポーツファーマシスト***に、禁止物質が含まれていないかを確認するようにしてください。特に、風邪薬、鎮痛剤、胃腸薬、アレルギー薬など、日常的に使用される医薬品にも禁止物質が含まれている場合があります。
*各都道府県のスポーツファーマシストは、次のサイトから検索可能です
(<https://sportspharmacist.jp/search/>)。
3. **Global DRO** を活用してください: JADA が提供する「Global DRO」(<https://www.globaldro.com/JP/search>) は、服用している医薬品が禁止物質を含んでいるか否かをオンラインで確認できるツールです。選手の皆さんは是非、このツールを積極的にお使いください。
4. 上記の 1, 2, 3 でも服用薬物が使用可能かわからない時には、**日本薬剤師会の相談窓口** (<https://www.playtruejapan.org/code/hotline.html>) に相談してください。
5. **治療使用特例（TUE）申請の周知:**
やむを得ない治療目的で禁止物質を含む医薬品を服用する必要がある場合は、**国スポ開催日の 30 日前までに治療使用特例（TUE）の申請**が必要です。詳細は次のサイト (<https://www.realchampion.jp/what/health/tue/apply-kokutai.html>) をご覧ください。TUE 申請については、薬の処方をする医師に相談することで違反とならない薬剤や治療方針を見出してもらえる場合もあります。不安を抱える選手への正確な情報提供をお願いいたします。

注意：漢方薬やサプリメントは、すべての含有物質が明らかになっているわけではないため、上記の「アンチ・ドーピング使用可能薬リスト」、「Global DRO」などには掲載されていません。服用（摂取）は自己責任となります。

各都道府県連盟における**スポーツファーマシストの活用**につきましては、すでに令和 5 年 10 月 16 日付の文書（添付）をお願いしていますが、上記の「うっかりドーピング」問題に対しましても、なにとぞ、ご理解とご協力を賜り、国スポ剣道競技がクリーンで公平に開催されるよう、ご尽力いただけますことを心よりお願い申し上げます。
ご不明な点がございましたら、全剣連事務局まで遠慮なくお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

全剣連事務局アンチ・ドーピング担当 関根

Tel: 03-3234-6271 E-mail: sekine@kendo.or.jp

以上